

富医ニュース

No.601 令和3年10月1日

一般社団法人 富田林医師会
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

就寝時のカエルの大合唱も聞かれなくなり、コロナギたちの耳ざわりのいい鳴き声が子守唄がわりになり、過ごしやすくなってきた今日この頃です。

さて4市町村での新型コロナワクチン集団接種事業ですが、大きな接種事故等もほまほまなく終了を迎えようとしております。この6か月間を振り返ってみると、いつもはなかなか顔を見合わす事も出来ない先生どうしや、医師会事務職員、各医院看護師、市町村の各課の職員など皆の力が一丸となり、まさにワンチームとなりえた大事業であったと思えます。何度も出務している間に、知らぬ間に皆が顔見知りになり冗談も言い合えるような雰囲気醸しだされ、コロナ禍の有事のなかでこそ成しえたチーム医療であったと考えます。この長い坂道はまだまだ続くと思われませんが、その先の青空をめざし、なおいっそうの皆さまのご協力の程、よろしくお願ひいたします。

65歳以上	1 回 目		2 回 目		65歳以上人口
富田林市	31,713人	91.0%	31,295人	90.0%	34,781人
太子町	3,739人	96.9%	3,671人	93.8%	3,913人
河南町	4,653人	91.0%	4,587人	89.7%	5,112人
千早赤阪村	2,179人	91.7%	2,102人	88.5%	2,375人

12～64歳	1 回 目		2 回 目		12～64歳以上人口
富田林市	45,158人	68.0%	39,756人	60.0%	66,297人
太子町	5,837人	72.2%	5,306人	65.7%	8,079人
河南町	6,424人	76.4%	5,973人	71.0%	8,409人
千早赤阪村	1,796人	75.1%	1,559人	65.2%	2,391人

全体(12歳以上)	1 回 目		2 回 目		全接種対象人口
富田林市	76,890人	76.0%	71,051人	70.0%	101,078人
太子町	9,576人	79.0%	8,977人	74.9%	11,992人
河南町	11,077人	81.9%	10,560人	78.1%	13,521人
千早赤阪村	3,975人	83.4%	3,661人	76.8%	4,766人

9.22 現在

令和3年9月定例理事会

日 時 令和3年9月10日(金) 20:30より
場 所 医師会 会議室

会長代行挨拶

報告事項

- 1) 診療科目改正に伴う入会・移動手続き等の対応
⇒神経内科を脳神経内科に改正
- 2) 妊婦のコロナワクチン接種について
⇒妊婦は妊娠の週数を問わず接種可能
- 3) 季節性インフルエンザワクチンの供給について
⇒供給が減少する模様
- 4) 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬について
- 5) 令和3年度大阪府新型コロナウイルス感染症自宅療養者往診など実施協力金について
- 6) 感染拡大地域における陽性者と濃厚接触の可能性のあるものへの検査について
- 7) 富田林市子供医療証の変更について
⇒10月から18歳まで医療費助成が開始
- 8) 太子町健康づくり推進会議委員→北株先生、天城先生
- 9) 富田林保健所運営協議会委員→藤岡洋会長代行
- 10) 富田林市子ども・子育て会議委員→福田先生
- 11) 地域医療支援病院運営委員会
(9月22日WEB開催)→藤岡洋会長代行
- 12) 富田林市障害者施策推進協議会委員
令和3年11月1日より2年→兎島先生

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 入会金・再入会金について
- 3) オゾン発生装置の教育現場での設置について

富田林医師会学術講演会

座学講習会・WEB講習会(ZOOM)

日 時 2021年10月21日(木) 14:00～15:00

開催形態 会場参加:すばるホール3F 会議室3

WEB参加:ZOOM

特別講演 **pipes, pump, filter**

～心不全治療におけるSGLT2阻害薬への期待～

演 者 近畿大学医学部 循環器内科

助教 高橋 邦彰 先生

近年本邦において高齢化が叫ばれる中、心不全患者が爆発的に増加している(心不全パンデミック)。これにより入院加療が必要な高齢患者があふれ、さらに医療

費の増大に繋がる。このような日本におけるパンデミック化により、心不全は、もはや循環器医が治療する専門疾患ではなく、日常診療において頻繁に遭遇する“Common Disease”であり、医師の専門性を問わず、心不全入院を繰り返さないための取り組みが求められている。

また、高齢者では慢性腎臓病が併存していることも多い。糸球体濾過率の低下・蛋白尿の出現は心不全の発症リスクと関連すること、死亡率を含めた予後が悪化することが示唆されている。このような状況の中、“Common Disease”である心不全の管理をするうえで、患者の「腎機能」、「蛋白尿」に注目することは非常に重要と考えられる。

患者の心臓だけでなく腎臓にも注目して治療戦略をどのように立てるべきか、最新のエビデンスと各種ステートメントを踏まえて、自験例を交えながら紹介する。

※大阪府医師会生涯教育

CC24(浮腫) CC66(乏尿・尿閉)を各0.5単位を申請中です。



専門医より一言

「なんかおかしい良くならない

四肢しびれ:視神経脊髄炎

田辺脳神経外科病院

脳神経内科 部長 大西 静生 先生

多発性硬化症(MS)は、中枢神経系の慢性炎症性脱髄疾患であり、視神経や脳、脊髄に時間的・空間的に病変が多発するのが特徴です。

そのMSでは神経細胞軸索の周囲に髄鞘として存在するオリゴデンドロサイトが障害されることが以前よりわかっていたのですが、後述する抗アクアポリン抗体陽性視神経脊髄炎(NMO-SD)では、アストロサイトの障害が明らかにされています。以前は遺伝や人種から高緯度に多く、先進国で発症率が高いとされていましたが、近年では喫煙や肥満が発症率と関連があるとされており、全世界では患者数は250万人と決して少なくない疾患です。

通常、病歴聴取や経時的な神経学的診察により時間的・空間的な病変の多発性を証明し、他の疾患を否定することで診断を行います。以前よりこの疾患は人種差、障害の程度、再発の頻度などに多様化を認めており、heterogenous(曖昧でごちゃ混ぜ)な疾患群と言われていました。しかし近年、血清中に存在する抗アクアポリン4(AQP4)抗体や抗MOG抗体などが新しく発見されたことで徐々に疾患群が整理されてきています。現在までステロイド以外に有効な薬剤が無かった抗アクアポリン抗体陽性のNMO-SDに対し、病態の解明が進み、新規の再発予防薬の相次ぐ出現や保険適応など目まぐるしく治療薬(疾患修飾薬:DMT)が発展してきています。多発性硬化症を含めNMOに特徴的な疫学、症状や検査所見、見つけ方、脊椎疾患(整形外科的疾患)との見極めや鑑別方法などについて解説させていただきました。

調整日

9月分

10月7日(木)

PM3:00まで

10月分

11月8日(月)

PM3:00まで

10月の予定

7日(木)・調整日

8日(金)・理事会(20:30~)

18日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

21日(木)・学術講演会

(座学・WEB ZOOM)

22日(金)・広報調査委員会

26日(火)・広報調査委員会(校正)

9月行事・会合

8日(水)・調整日

・救急災害医療委員会 中止

10日(金)・理事会(20:30~)

13日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

14日(火)・学校医部会 中止

16日(木)・学術講演会(WEB講演会 ZOOM)

・広報調査委員会

21日(火)・広報調査委員会(校正)

27日(月)・休日診療委員会

28日(火)・感染症対策委員会(ZOOM)

お詫び

富井ニュースNo.600 2P 学術講演会記事
中、大西静生先生のお名前に誤りがありました。
深くお詫びいたします。

○会員数(10月1日現在) 181名

A会員 94名 B会員 87名

○入会 9月1日

芝池 庸仁 A2B(富田林病院 腎臓内科)

○退会 なし

○異動 9月8日

木村 伸悟 A2B→A(尾崎クリニック)

管理者交代

尾崎 祐吉 A→A2B(尾崎クリニック)

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文